



# 夢清らかに 今庄っ子

今庄小学校 学校だより 第40号 ～ 令和5年11月30日

## 冬期の業間活動

冬期の体力作りの一つとして業間活動でなわとびが始まりました。3分間・5分間の持久跳び、1分間に決められた跳び方が何回できるかへの挑戦、なわとびカードに示された技への挑戦を行っています。学習指導要領の中には「巧みな動きを高める、動きを持続する能力を高める」ことが示されています。各自がなわとびカードに示されているような様々な跳び方ができるようになってほしいと思います。それをできるだけ連続して跳べるようになるとさらによいと思います。ふつう跳びや二重跳びが上手な子の様子を見てみると、体が1本の棒のようになって跳んでいました。私は体育の専門ではないのですが、この「体を1本の棒のようにする」というのは、体を弾ませるために必要な体の使い方なのかもしれません。体を弾ませるといのは走ることや他の運動にもつながっていきそうな気がします。また、跳び続けることは全身の持久力の向上だけでなく、集中力のアップにもつながるそうです。現在子供たちの中には業間だけでなく、10分の休み時間にも教室の中や廊下でなわとびをしている子がいます。子供たちの体力の向上が楽しみです。



なわとびの他、百人一首も始めました。百人一首を闇雲に覚えるのではなく、100枚を20枚ずつに分け、20枚ごとに覚えていきます。そうして低学年から少しずつ覚える数を増やしていきます。1月には校内かるた大会を学年ごとに実施を予定しています。百人一首を覚えることを通して、古文の言葉に親しみ、覚えることで記憶力を高めてほしいと考えています。今は意味が分からなくても日本語の持つ美しさを心に刻み、もっと大きくなってからそこに含まれている意味を理解することで豊かな感性が育っていくのではないかと思います。また、競技かるたで培われる力として集中して聞く力が挙げられます。さらに勝っても負けても礼に始まり礼に終わるといふ相手や読み手に対する礼儀や挨拶を大切にすることができるようになってほしいと思います。是非ご家庭でもご協力をお願いします。

## 全校遊び～ふえ鬼ごっこ～

24日の業間の時間に体育給食委員の6年生が中心となり全校遊びを行いました。体育館で「ふえ鬼」（鬼にタッチされた人が鬼になり、鬼がどんどん増えていく）を行いました。逃げ通せた人には委員会で作ったカードがもらえます。1回目、初めの鬼は6年生の委員の子5人で時間は3分間です。するとあっという間にみんな捕まってしまう。2回目は1分にしましたが、こちらも時間内に終わりました。結局30秒、20秒と時間を短縮したり、最初の鬼を変えたりしながら進めていました。特に20秒はスタートしたと思ったらあっという間に時間になりました。こうして逃げ延びた人にはカードが渡されましたが、それでもカードは残っていました。カードをたくさん手作りのだんなあと委員会の子の頑張りが感じられました。昼休みなど学年ごとに鬼ごっこをしていることはありますが、このように全校で行うのは誰かがその音頭をとってくれなくてはなりません。今回このようにみんなで楽しく遊ぶ機会を設けてくれ、見ていて大変微笑ましいものでした。また、体育館での鬼ごっこと言うことでぶつかったりしないかと心配もありましたが、無事に終わることができました。それはぶつかりそうになったときに咄嗟に体を



を切り返して、危険を回避する力がついていっているのでしょうか。普段からしっかり体を動かしているからだだと思います。委員のみなさん、ありがとうございました。

### 読み聞かせ

30日に読み聞かせがありました。



〈読まれた本〉 バスがきましたよ 山のおふろ 恐竜はどうたかたか? ぶす